

広報 ちくしの

人権問題特集号

【人権尊重のまちづくりスローガン】
「自分が人からされたり 言われたりしていやなことは、自分には人にしない 言わない。」



コロナ禍の中で・・・。

新型コロナウイルスへの不安から、人を排除したり中傷したりする事件も起きています。しかし、心あたたまるとも出来事もあります。

2つの応援メッセージは、人の優しさやあたたかさを伝えてくれています。

「がんばれ かもだほいくえん」高知市の鴨田保育園の玄関に励ましのメッセージが書かれた応援旗が掛けられていました。一人の保育士さんがコロナウイルスに感染し、園はしばらく休園。再開の朝に寄せられた匿名の激励に、さまざまな不安を抱いていた所長や保育士の目には涙が光っていたそうです。



2枚の写真は、筑紫野市内の子ども会の子が高齢者施設を訪ね、寄せ書きや横断幕を見せしている様子です。寄せ書きには、「職員みなさんも、いつも大変でしょうががんばってください」「高い者のみなさんもコロナウイルスに負けず、これからもがんばってください」と、横断幕には「はなれているけど、つながっているよ」と書かれていました。毎日緊張感をもっていた職員の方も、高齢者も笑顔いっぱいになったそうです。



目次

- 感染症を引き起こすのは「ウイルス」、人ではありません …… 2
- 「痛み」を重ねながら …… 3
- ありのままに …… 4
- 体罰によらない子育てを広げよう …… 5
- 人がつながる豊かな言葉 …… 6
- ワンチーム …… 7

2020年



12/1